

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	照明環境規準刊行小委員会		主 査 名：平手 小太郎 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：羽山 広文 主 査 名：村上 公哉
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2016 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	照明環境の質と省エネルギー性を担保する上での学会基準のあり方について議論を進め、昨年度までに光環境運営委員会照明環境基準 WG で執筆を進めた照明環境基準原案 (WD) を元に、日本建築学会環境基準：照明環境基準を作成・出版する。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し		
	主査：平手 小太郎 幹事：望月 悦子、吉澤 望 委員：明石 行生、岩田 利枝、金谷 末子、古賀 靖子、小崎 美希、中村 芳樹、原 直也、本間 睦朗、三木 保弘、宗方 淳		
設置 WG (WG 名：目的)			
2015 年度予算	400,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. シンポジウム「照明環境規準制定に向けて」 参加者数 55 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. 「照明環境規準」パブリックコメント実施
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 委員会を当初予定通り 4 回開催して刊行に向けた作業を進めた。 2. 予定通り 6 月に DS 完成、10 月にシンポジウム開催し、FDS を完成させた。 3. パブリックコメント募集し、2 月に ES 最終原稿提出を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 当初予定通りに進行できたので特になし。 2. 3.

2015 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>光環境運営委員会照明環境基準 WG で照明規準原案 (WD) の作成を進めて、平成 27 年度から照明環境基準刊行小委員会へ移行して、予定通り 1 年間で最終原稿提出まで終了した。当初予定通りの進行でありほぼ 100%に近い達成度であると考えている。10 月のシンポジウムも会場から多くの意見が寄せられ、次世代の照明規準を制定する上で非常に有益な議論を交わすことができた。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。